

先行き減速の懸念

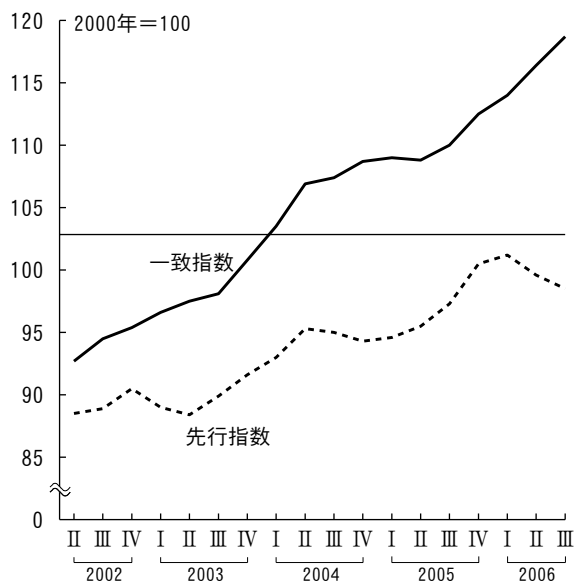
動向分析チーム

当会で作成している九州地域景気総合指数（CI）の一致指数は、2006年7～9月期に118.7（2000年＝100）と、前期比で2.3ポイント上昇した。ただし、月次で見ると7月118.6、8月118.8、9月118.7と横ばい気味に推移している。内閣府がとりまとめている景気ウォッ

チャー調査の九州地域現状判断DIは、10月に51.4と、僅かながら50のラインを上回った。

主要項目をみると、鉱工業生産指数は7～9月期108.9と生産活動は高水準ながらも前期から0.1%増のほぼ横ばいであった。自動車は生産能力増強で好調を維持しているが、

九州地域景気総合指数（CI）



「景気ウォッチャー調査」現状判断DI

